

「関西電力送配電 DX戦略 2026」の策定について

2026年2月2日

関西電力送配電株式会社

当社は、2050年頃の当社グループのありたい姿を取りまとめた「関西電力送配電グループビジョン※」の実現を加速させるため、本日、「関西電力送配電 DX戦略 2026（以下、DX戦略）」を策定しました。

昨今、激甚化する自然災害に対するレジリエンス強化や、系統利用ニーズの多様化など、送配電事業が果たす役割への期待は高まっています。当社は、DX戦略に基づき、「送配電業務全般において、デジタル技術・データの活用高度化により、人の関与を根本的に変え、安全かつ正確で迅速な業務への変革を実現する」ことで、その期待に応えてまいります。

具体的には、2050年頃のありたい姿に向けて「データの蓄積と積極的な活用」「Agile Win」「刷新によるシステムの次世代化」の3つのアプローチで取り組み、至近では以下の取り組みを進めてまいります。

○データの蓄積と積極的な活用

- ・「ありたい姿」実現に必要なあらゆるデータを連携・蓄積し、一元的に管理するためのデータ活用基盤を構築

○Agile Win

- ・業務の高度化・省人化・自動化に向けたアイデアのスピーディな実証と、その成果の現場適用
- ・高度専門人財の内製化（2027年度までに30名程度を確保）

○刷新によるシステムの次世代化

- ・過去の技術や仕組みで構築されたシステムからの脱却と、クラウド化の推進による拡張性・柔軟性の向上
- ・外部システムと連携可能な機能等の強化

この他、DXを推進する人財として必要なDXリテラシーを備えている人財を、2027年度までに1,800名以上育成することを目指します。

当社グループは、DX戦略に基づき、既存事業の変革を実現し、更にその変革を進化させ続けることで、グループビジョンの実現を目指してまいります。

※[関西電力送配電グループビジョン公表サイト（2023年8月1日策定）](#)

以 上

別 紙：[関西電力送配電 DX戦略 2026](#)